

所 属 長 印

同 志 社 大 学

2009 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010 年 3 月 19 日提出

所 属	職 名	氏 名	印
文学部	教授	山田和人	
研 究 題 目	からくり文化の総合的研究		
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究では、からくりをからくり人形という範疇だけにとどめるのではなく、むしろ、「からくり文化」という視点から総合的に研究する視座を見出していくための基礎的な研究を目指している。</p> <p>今年度は、からくりが他ジャンルに与えた影響を具体的に探ることを目指した。そこで、からくり研究の立場から、式亭三馬の『早替胸のからくり』と『人心覗からくり』の挿絵（表紙見返し図と口絵）について、竹田からくり「傀儡師」との関連を証明するとともに、「傀儡師」を媒介にして、三馬が正統続き物としての構想を当初から持っていたことを明らかにしようと試みた（『同志社国文学』72号 2010年3月）。</p> <p>こうした他の文藝ジャンルにも広範な影響を及ぼしており、からくりが日本文化史のなかで占める比重の大きさを証明する方向性を示すことができた。次年度以降も検討を重ねていきたい。</p> <p>従来からのからくり研究の成果を集成する意図で、芸能史研究会東京例会（2009年12月5日 早稲田大学）において「からくり研究と絵画資料」という発表を行なった。からくり研究における絵画資料の有効性を示すとともに、その視点から『用明天王職人鑑』の鐘入りの段の舞台演出について新見を示すことができた。</p>		